【専門分野】

科目名	臨床看護総論（主要症状別看護）	講師名	専任教員	学年	1	履修期	第２学期
単　位	１単位						
時間数	１５時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	症状のある対象の理解とその状態に応じた看護の方法を学ぶ。						
授業科目目標	１．症状のメカニズムが理解できる。 ２．症状を改善または緩和する看護の方法が理解できる。 ３．口腔内・気道内吸引の技術を習得することができる。						
授業計画	１～２回：呼吸に関する症状を示す対象者への看護 呼吸困難 １）呼吸機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護 （１）効果的な換気を促す援助 （２）酸素の供給とバランスをとるための日常生活援助 （３）酸素療法 中央配管システムと酸素ボンベの取り扱い酸素残量の計算 （４）精神的援助 ３～４回：口腔内吸引、気道内吸引の実際 酸素ボンベの取り扱いの実際 ５回：循環に関連する症状を示す対象者への看護 浮腫（末梢循環促進含む） １）循環機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護 （１）血液循環を促進する援助 （２）心負荷を軽減する援助 ６回：体温調整機能障害のある患者の看護 発熱、低体温 １）体温調整機能障害に関するニーズの充足に向けた看護 （１）発熱時の援助 （２）うつ熱時の援助 （３）低体温時の援助 ７回：安楽に関連するに関連する症状と看護 疼痛、嘔気・嘔吐 １）安楽に関連するに関連するニーズ充足に向けた看護 （１）痛みに対する援助 （２）嘔気・嘔吐に対する援助 ８回：終了試験	講義 演習 講義 講義 講義						
評価方法	筆記試験						
テキスト	１．系統看護学講座　専門分野　基礎看護学［４］臨床看護総論，医学書院. ２．系統看護学講座　専門分野　基礎看護学［３］基礎看護学技術Ⅱ，医学書院. ３．高木永子：看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント　第４版，学研.						
参考書	１．日野原重明編集：フィジカルアセスメント　ナースに必要な診断の知識と技術，医学書院. ２．竹尾惠子他：看護技術プラクティス，第４版，学研.						
学生へのメッセージ	臨床看護総論では、看護の基本として多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の知識や技術を統合し、応用するプロセスを学ぶことを目指しています。主要な症状のある対象の理解とその状態に応じた基本的な看護と必要な技術について学びます。フィジカルアセスメントや臨床判断での学習を活かし、症状のメカニズムを理解して授業に臨みましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅰ～Ⅲ、病理学Ⅰ～Ⅲ						